

「(仮称)北海道子ども基本条例」(素案)の意見ぼしゅうの結果(こどもの意見)

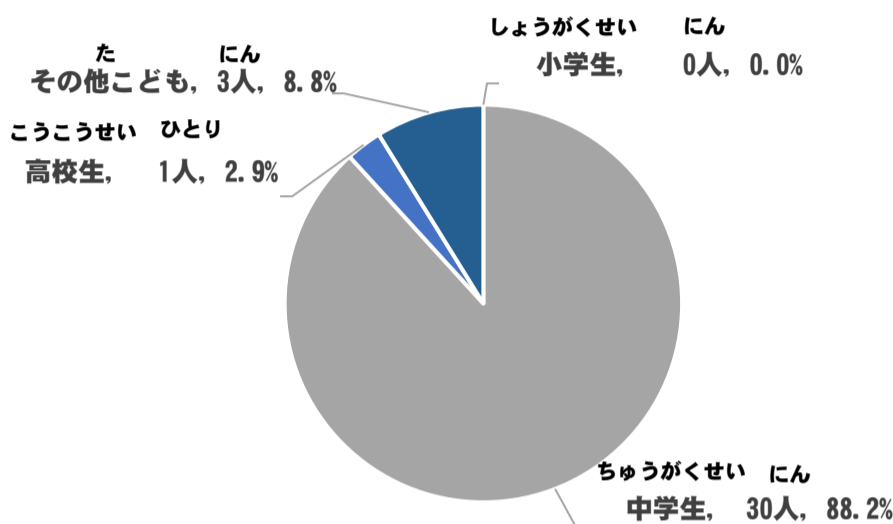
令和7年(2025年)2月6日

実施期間	令和6年11月26日から令和6年12月25日
回答数	34人

1 年代

【質問】 あなたの年代を教えてください。

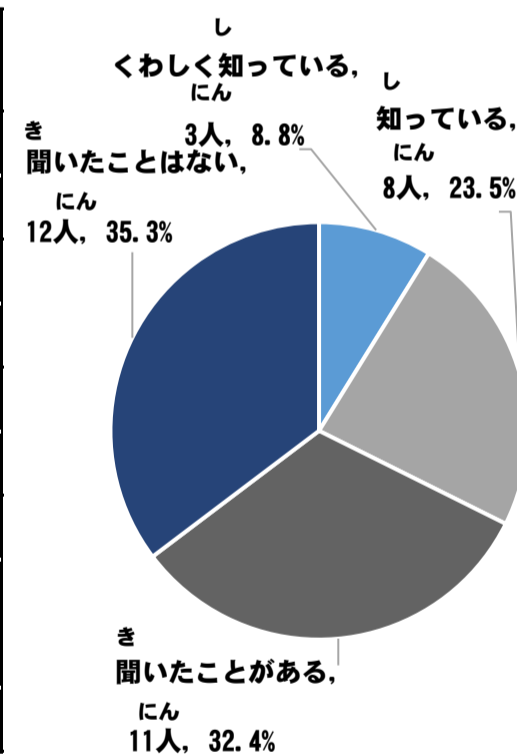
年代	人数	割合
小学生	0人	0.0%
中学生	30人	88.2%
高校生	1人	2.9%
その他子ども	3人	8.8%
合計	34人	100.0%



2 子どもの権利条約

【質問】 子どもの権利についての決まりごと、子どもの権利条約の内容について知っていますか。

年代	くわしく知っている	知っている	聞いたことがある	聞いたことはない
小学生	0人	0人	0人	0人
中学生	2人	6人	10人	12人
高校生	1人	0人	0人	0人
その他子ども	0人	2人	1人	0人
合計	3人	8人	11人	12人



みなさんの意見 「くわしく知っている」と「知っている」を合わせると、32.3パーセントとなり、全体のおよそ3分の1の人が子どもの権利条約について知っていると答えました。

5 道庁や子どもに接するひとたちの役割

【質問】この条例では、道庁や子どもに接するひとたちの役割を決めたいと考えています。この役割でいいかどうか教えてください。

	しょうがくせい 小学生 わりあい (割合)	ちゅうがくせい 中学生 わりあい (割合)	こうこうせい 高校生 わりあい (割合)	た その他子ども わりあい (割合)	けい 計 わりあい (割合)
この役割でいい	にん 0人 -	にん 28人 (93.3%)	ひとり 1人 (100.0%)	ふたり 2人 (66.7%)	にん 31人 (91.2%)
この役割ではよくない	にん 0人 -	ふたり 2人 (6.7%)	にん 0人 (0.0%)	ひとり 1人 (33.3%)	にん 3人 (8.8%)
ごうけい 合計	にん 0人 -	にん 30人 (100.0%)	ひとり 1人 (100.0%)	にん 3人 (100.0%)	にん 34人 (100.0%)

みなさんの意見	道庁や子どもに接するひとたちの役割は、「この役割でいい」とする意見が9割超となりました。
---------	--

6 北海道の取組

【質問】この条例で決める北海道の取組の中で、大事だと思うものを教えてください。(複数選択可能)

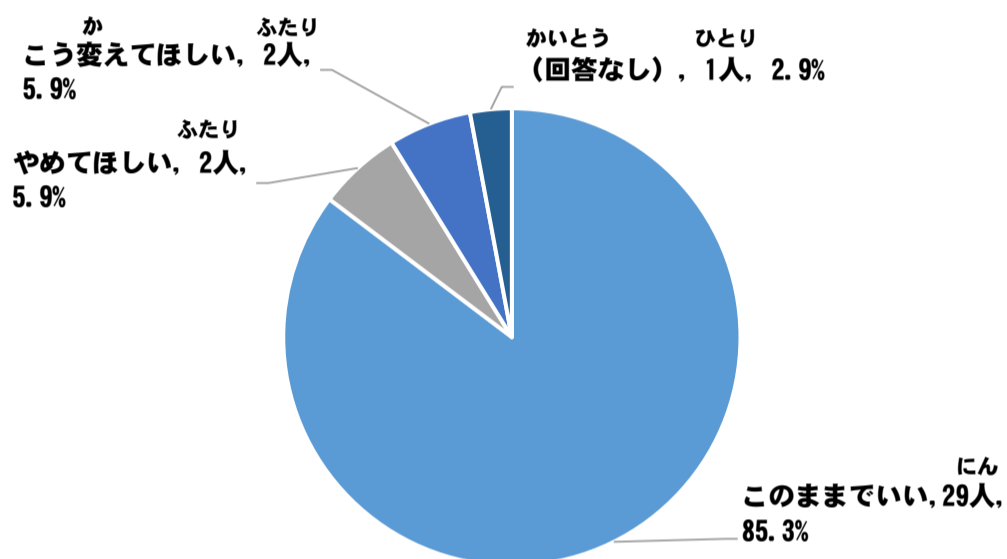
	しょうがくせい 小学生 わりあい (割合)	ちゅうがくせい 中学生 わりあい (割合)	こうこうせい 高校生 わりあい (割合)	た その他子ども わりあい (割合)	けい 計 わりあい (割合)
子どもに関する計画をつくる	にん 0人 -	にん 11人 (36.7%)	にん 0人 (0.0%)	ふたり 2人 (66.7%)	にん 13人 (38.2%)
子どもの意見を聴く	にん 0人 -	にん 19人 (63.3%)	にん 0人 (0.0%)	にん 3人 (100.0%)	にん 22人 (64.7%)
子どもの社会参加を進める	にん 0人 -	にん 11人 (36.7%)	ひとり 1人 (100.0%)	にん 3人 (100.0%)	にん 15人 (44.1%)
子どもを支える取組を進めるための仕組みをつくる	にん 0人 -	にん 15人 (50.0%)	ひとり 1人 (100.0%)	にん 3人 (100.0%)	にん 19人 (55.9%)
子どもの権利を守る、みんなにわかってもらおう	にん 0人 -	にん 17人 (56.7%)	ひとり 1人 (100.0%)	ふたり 2人 (66.7%)	にん 20人 (58.8%)
子どもの居場所づくり	にん 0人 -	にん 20人 (66.7%)	ひとり 1人 (100.0%)	にん 3人 (100.0%)	にん 24人 (70.6%)

みなさんの意見	北海道の取組のうち、特に、「子どもの居場所づくり」や「子どもの意見を聴く」ことなど大事だと思っっている人が多いことがわかりました。
---------	---

7 (仮称)北海道子ども基本条例(素案)

【質問】資料を読んで、どう思ったか教えてください。

	しょうがくせい 小学生 わりあい (割合)	ちゅうがくせい 中学生 わりあい (割合)	こうこうせい 高校生 わりあい (割合)	た その他子ども わりあい (割合)	けい 計 わりあい (割合)
この条例(素案)のままでいい	にん 0人 -	にん 27人 (90.0%)	ひとり 1人 (100.0%)	ひとり 1人 (33.3%)	にん 29人 (85.3%)
この条例(素案)はやめてほしい	にん 0人 -	ふたり 2人 (6.7%)	にん 0人 (0.0%)	にん 0人 (0.0%)	ふたり 2人 (5.9%)
この条例(素案)をこう変えてほしい	にん 0人 -	にん 0人 (0.0%)	にん 0人 (0.0%)	ふたり 2人 (66.7%)	ふたり 2人 (5.9%)
かいとう (回答なし)	にん 0人 -	ひとり 1人 (3.3%)	にん 0人 (0.0%)	にん 0人 (0.0%)	ひとり 1人 (2.9%)
ごうけい 合計	にん 0人 -	にん 30人 (100.0%)	ひとり 1人 (100.0%)	にん 3人 (100.0%)	にん 34人 (100.0%)



みなさんの意見	「この条例(素案)のままでいい」と答えた人が85.3%となりました。 「やめてほしい」(※意見なし)、「こう変えてほしい」(※意見は下記9)、と答えた人が2人ずつとなりました。
---------	---

8 設問【7】で「この条例(素案)はやめてほしい」、「この条例(素案)をこう変えてほしい」を選んだ方へ

【質問】設問【7】で「この条例(素案)はやめてほしい」を選んだ場合はその理由、「この条例(素案)をこう変えてほしい」を選んだ場合は、その変えてほしい内容を教えてください。

ねんだい 年代	いけん 意見の内容	いけん 意見の反映
ちゅうがくせい 中学生	とく 特にない	
ちゅうがくせい 中学生	かいとう (回答なし)	
た その他子ども	「子ども」という主語が先行しすぎて、あまり実感が湧かないと考えた。そのため、「あなた」という主語を使い、より自分ごとと認識できるようにしてほしい。	・この条例が決定した後、条例が目指していることなど、この条例の趣旨、内容について、広報活動等を通じて、子どものみなさんにも分かりやすくお知らせしていきます。
た その他子ども	よいおとな 良い大人になるためではなく、子ども時代 にちゃんと子どもとして過ごすことができることを保障してください。	・この条例に基づき、子どもに関わる様々な人たちと連携して、社会全体で子どもがこどもらしく生活できるよう取組を進めていきます。

9 その他

【質問】(仮称)北海道子ども基本条例の^{おも}ことについて、あなたが^{かんが}思ったことや^{おし}考えたことを教えてください。

ねんだい 年代	いけん ないよう 意見の内容	いけん はんえい 意見の反映
ちゅうがくせい 中学生	あまり ^{じょうれいき} 条例と聞いてピンとこなかったけれど ^{しりょう み} 資料を ^{おも} 見てみるとこれからの ^{まち} 町の ^{じょうれい} 条例のことも ^{かんが} 考えていきたいと思った。	
ちゅうがくせい 中学生	いま ^{きほんじょうれい} 今の ^{おも} 基本条例はいいと思った。	
ちゅうがくせい 中学生	子ども ^い が ^よ 生きていける ^{なか} 世の中になれ ^{おも} ばいいのかなと思いま	
ちゅうがくせい 中学生	子ども ^{たい} に対して ^{かんが} 考えていることが ^{おも} 思ったより ^{おお} 多かった。	・この ^{じょうれい} 条例や ^{きほんほう} 子ども基本法などの ^{しゆし} 趣旨・ ^{ないよう} 内容について ^{こうほうか} 広報活 つどう ^{つう} 等を通じて、 ^{ひろ} みなさんに ^し 広く ^{すべ} お知らせし、 ^{かんけいしや} 全ての関係者と ともに ^{じょうれい} 条例の ^{もくてきたつせい} 目的達成に向けて ^む 取り組んで ^{とく} いきます。
ちゅうがくせい 中学生	子ども ^{たいせつ} を大切にして、 ^{しょうらい} 将来の ^{ほっかいどう} 北海道を ^{どうみん} 道民 ^{ささ} みんなで ^{おも} 支えていく ことが ^{たいせつ} 大切だと思 ^{おも} いました。	
ちゅうがくせい 中学生	よ ^{じょうれい} 良い ^{おも} 条例だと思 ^{おも} う。	
ちゅうがくせい 中学生	とく 特になし	
その他 ^た 子ども	パブリック ^{かつよう} コメントの ^{いつたい} 活用は ^{いけん} 一体 ^{そあん} どれほど ^{へんこう} なのか。どれほど 意見 ^{かり} を ^{そあん} まとめ、 ^{へんこう} 素案を ^{てん} 変更 ^{めいじ} していくのか。仮に ^う パブリックコ メント ^{へんこう} を受け、 ^{てん} 変更する ^{めんじ} 点があるのであれば、それを ^{へんこう} 明示して ほしい。また、 ^{てん} 変更する ^{へんこう} 点 ^{へんこう} がなかったのであれば、 ^{へんこう} 変更しな かった ^{むね} 旨を ^{せつめい} 説明し、 ^{りゆう} その理由も ^{くわ} 加えて ^{おも} もらいたい。 また、より ^{こうはん} 広範に ^{あつ} パブリックコメントを ^{あつ} 集める ^{あつ} ために ^{あつ} どのような ^{どりよく} 努力 ^{あつ} をしているのか。	・今回 ^{いけん} 子ども ^ふ や ^ふ 大人の方 ^ふ たちから ^ふ いただいた ^ふ 意見を ^ふ 踏まえて 素案 ^{そあん} から ^{へんこう} 変更 ^{てん} した ^{さんこう} 点、 ^{てん} 参考 ^{へんこう} にした ^{てん} 点、 ^{てん} 変更 ^{てん} しな ^{てん} かった ^{てん} 点など が ^わ 分かる ^{こうひよう} よう公表 ^{あつ} します。
その他 ^た 子ども	北海道 ^{きほん} 子ども基本 ^{じょうれい} 条例は ^{いまげんざい} 今現在の、 ^{こども} そして ^{たち} これからの ^{こども} 子供達に ^{こども} ど のように ^と 受け ^{げん} 止め ^{だん} られたいのか。 ^{そあん} 現段階 ^{そあん} の ^{そあん} 素案 ^{そあん} のままでは、 ^{こども} 子供 達 ^{りかい} が ^{おとな} 理解 ^{おとな} することなく、 ^{おとな} 大人 ^{おとな} になっ ^{おとな} てしま ^{おとな} うのでは ^{おとな} ないか。より ^{おとな} 自分 と ^{おとな} 事 ^{おとな} として ^{おとな} 感じる ^{おとな} ような ^{おとな} 書き ^{おとな} 方 ^{おとな} を ^{おとな} してもら ^{おとな} いたい。そして、それを ^{おとな} 北海 道の ^{いどう} 学校の ^{がっこう} 授業 ^{じゆぎょう} で ^{あつか} 扱う ^{あつか} ように ^{あつか} して ^{あつか} いくべき ^{あつか} なのでは ^{あつか} ないか。小中高 の ^{こども} 子供 ^{おとな} たちが、 ^{おとな} 自分 ^{おとな} 事 ^{おとな} として ^{おとな} 認識 ^{おとな} できる ^{おとな} のは ^{おとな} 自分で ^{おとな} 調 ^{おとな} べるより、 ^{おとな} 授業 ^{あつか} で ^{あつか} 扱う ^{あつか} こと ^{あつか} による ^{あつか} こと ^{あつか} の方が ^{あつか} 容易 ^{あつか} だろう。	・この ^{じょうれい} 条例や ^{きほんほう} 子ども基本法などの ^{しゆし} 趣旨・ ^{ないよう} 内容について ^{こうほうか} 広報活 つどう ^{つう} 等を通じて、 ^{おとな} こどもの ^{おとな} みなさんにも ^{おとな} わかり ^{おとな} やすく ^{おとな} お知ら ^{おとな} せ すべ ^{かんけいしや} 全ての関係者と ^{おとな} ともに ^{おとな} 条例の ^{もくてきたつせい} 目的達成に向けて ^む 取り組ん で ^{とく} いきます。
その他 ^た 子ども	子ども ^{けいかく} 計画は ^{しさく} いつ ^き 施策 ^き されるか ^き 気 ^き になりました。	・(仮称)北海道 ^{けいかく} 子ども計画は、 ^{れいわ} 令和 ^{ねん} 7年 ^{がつ} 4月 ^{がつ} からの ^{めざ} スタートを 目指 ^{めざ} しています。
その他 ^た 子ども	より ^{ひろ} 広く ^{ふく} 子ども ^{どうみん} 含 ^{けんり} めた ^{しゅうち} 道民 ^{しゅうち} に ^{しゅうち} こどもの ^{しゅうち} 権利 ^{しゅうち} を ^{しゅうち} 周知 ^{しゅうち} してもら ^{しゅうち} うた めの ^{こうほうかつどう} 広報 ^{ちからい} 活動 ^{ちからい} に ^{ちからい} 力 ^{ちからい} を入れて ^{ちからい} ほしい。	・この ^{じょうれい} 条例や ^{きほんほう} 子ども基本法などの ^{しゆし} 趣旨・ ^{ないよう} 内容について ^{こうほうか} 広報活 つどう ^{つう} 等を通じて、 ^{ひろ} みなさんに ^し 広く ^{すべ} お知らせし、 ^{かんけいしや} 全ての関係者と ともに ^{じょうれい} 条例の ^{もくてきたつせい} 目的達成に向けて ^む 取り組んで ^{とく} いきます。